

拒絶理由通知書

特許庁

特許出願

特許出願の番号

特願 2001-059045

起案日

平成17年 5月17日

特許庁審査官

西島 篤宏

9308 2G00

特許出願人代理人

上柳 雅誉 (外 1名) 様

適用条文

第29条第2項、第36条

J0006467
ISO/公報

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものである。これについて意見があれば、この通知書の発送の日から60日以内に意見書を提出して下さい。

理 由

1. この出願は、特許請求の範囲の記載が下記の点で、特許法第36条第6項第1号に規定する要件を満たしていない。
2. この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前日本国内又は外国において頒布された下記の刊行物に記載された発明又は電気通信回線を通じて公衆に利用可能となった発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第29条第2項の規定により特許を受けることができない。

記

理由 1

請求項1について

(1) 「・・・半導体集積回路であって、・・・記憶手段と、・・・表示信号生成手段と、・・・第1の走査信号生成手段と、・・・第2の走査信号生成手段と、・・・タイミング制御手段と、を具備する半導体集積回路」との記載からすると、1つのドライバIC内にXドライバもYドライバも混載されたような構成であると考えられるが、発明の詳細な説明や図面の記載を参酌するに、各々異なるICにより構成されている。してみると、両者の記載の対応が取れていない。

請求項3, 5について

(2) 上記請求項1に関する指摘を参照のこと。

理由 2

・請求項 1-7

・刊行物 A. 特開2000-347628号公報 引例手配済

- B. 特開平04-116588号公報 引例手配済
C. 特開平08-054601号公報 引例手配済
D. 特開平03-132274号公報 引例手配済
E. 特開平07-199154号公報 引例手配済

請求項1, 7について

上記刊行物A（特に、図1及びそれに対応した発明の詳細な説明の記載などを参照のこと）に記載されたコントローラ、データドライバ、奇数ドライバ、偶数ドライバを、単に集積化することに特段の困難性は認められない。

請求項2-4について

論理積などにより制御信号を生成するような構成は、上記刊行物B（第7図など）やC（図9など）に示されているように周知の技術にすぎない。

請求項5-6について

上記刊行物Aや上記刊行物D（CP₂₀やCP₂₁など）や上記刊行物E（C_{pv}など）に示されているように、異なるタイミング信号に基づいて各走査信号を生成するような技術も周知の技術にすぎない。

先行技術文献調査結果の記録

- ・ 調査した分野 I P C 第 7 版
 - ・ G 0 9 G 3 / 0 0 - 3 / 3 8
 - ・ G 0 2 F 1 / 1 3 3 5 0 5 - 5 8 0
- ・ 先行技術文献
 - ・ 特開平04-245219号公報
 - ・ 特開平09-325738号公報
 - ・ 特開昭63-280581号公報
 - ・ 特開昭62-248385号公報

この先行技術文献調査結果の記録は、拒絶理由を構成するものではない。

この拒絶理由通知書の内容に問い合わせがある場合、又は、この案件について面接を希望する場合は、特許審査第1部ナノ物理、西島篤宏までご連絡下さい。

(Tel. 03-3581-1101 (ex. 3225) Fax. 03-3592-8858)